



第2章

目黒区男女平等・共同参画センター
20年のあゆみ

1 目黒区男女平等・共同参画センターの概要

女性問題の解決や男女が平等に共同参画する社会の実現のため、平成4年（1992年）に設置しました。

学習・交流や活動の場として、女性・男性を問わず利用できる施設です。

■施設概要

- 1 名 称 目黒区男女平等・共同参画センター
(旧名称：目黒区女性情報センター)
- 2 所 在 地 目黒区中目黒2丁目10番13号 中目黒スクエア8・9階
- 3 開館時間 午前9時～午後9時30分（祝日は午前9時～午後5時）
〈資料室開室時間 午前9時～午後9時（祝日は午前9時～午後4時）〉
- 4 休 館 日 毎週月曜日、年末年始（12月28日～1月4日）
- 5 構造・規模 鉄骨鉄筋コンクリート 地下2階・地上9階建（中目黒スクエア）
敷地面積 927.91㎡
建築面積 613.06㎡
延床面積 4,911.33㎡
(8・9階の延床面積 各311.79㎡)
- 6 開館年月日 平成4年7月14日
- 7 構 成

	施設名	面積
8階	資料室	93.82㎡
	資料室閉架書庫	16.59㎡
	談話・交流コーナー	28.20㎡
	事務室	62.23㎡
9階	会議室 定員42人 クローゼットあり (3.15㎡)	91.47㎡
	研修室 定員20人	31.05㎡
	保育室 定員8人(乳幼児)	23.68㎡
	相談室A・B	19.50㎡
	印刷コーナー	4.51㎡

2 情報の収集・提供

男女平等・共同参画センターは、資料室に、女性に関する問題や男女平等・共同参画に関する図書、雑誌、ビデオ等をご用意しています。また、年2回、男女平等・共同参画センターだより「であいきらり」を発行し、身近なお困りごとのヒントなどをお知らせしています。

2-1 資料室運営

フェミニズム、女性史をはじめ、家族、性、児童・青少年問題、高齢者問題、心理、労働・就職、法律、健康・医療、芸術、文学作品などを男女平等・共同参画の視点から取り上げた書物や、雑誌、新聞、ビデオ・DVD、行政資料などをご用意しています。

資料室の利用

- ◎開室時間 午前9時～午後9時（祝日は午前9時～午後4時）
- ◎貸出冊数 1人5冊まで（登録団体は1団体20冊まで）
- ◎貸出期間 2週間まで（登録団体は2か月まで）
- ◎貸出券 有効期間2年間

■蔵書分類（年度末現在）

年度	総記	哲学	歴史科学	社会科学	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	合計
19	236	615	801	6,951	999	371	53	1,188	106	3,175	14,495
20	244	637	833	7,321	1,057	387	56	1,237	111	3,260	15,143
21	240	651	854	7,457	1,018	395	51	1,300	108	3,452	15,526
22	240	671	876	7,633	1,042	413	53	1,366	109	3,508	15,911
23	240	689	904	7,900	1,067	431	55	1,368	110	3,534	16,298

※ 上記のうち、行政資料は1,500～2,000冊で推移している。

※ 平成24年3月末現在、上記のほか、ビデオ86本、DVD12枚、寄贈雑誌等99誌を所蔵している。

■利用状況

年度	開館日数	来館者数		貸出冊数	新規登録		ビデオ	レファレンス	リクエスト	コピー
		貸出者数	貸出者数		有効登録	有効登録				
19	306	3,908	4,650	278	6	258	330	117		
		1,860		484						
20	306	4,079	4,253	219	4	337	258	106		
		1,649		497						
21	307	5,159	5,916	308	2	568	528	97		
		2,390		527						
22	306	5,536	6,265	279	1	336	452	187		
		2,520		587						
23	307	3,834	4,343	205	0	240	268	45		
		1,782		484						

■資料室の主な動き

年月	事項
平成 4年 10月	貸出、コピーサービス開始
平成 5年 4月	図書予約・購入希望サービス開始（購入は3年間（平成24～26年度）休止）
平成 6年 4月	女性情報センター利用登録団体への団体貸出開始
平成 7年 8月	戦後50年記念行事「わたしたちをめぐる50年」（パネル展示、年表（小冊子）作成）
平成10年 10月	区立図書館を利用した図書の返却開始
平成11年 4月	他自治体の情報誌などを集めた情報ファイルコーナーを設置
平成13年 6月	女性情報センターホームページを開設
平成15年 3月	資料室蔵書検索システム稼動
平成17年 2月	資料室貸出返却システム稼動
平成17年 4月	資料横断検索サービス（区政情報コーナー、男女平等・共同参画センター、エコプラザ）開始



2-2 情報誌発行

毎号、「家族」「地域参加」「教育」などの身近なテーマを特集し、問題解決や男女平等・共同参画の啓発につなげています。そのほか、男女平等・共同参画センターの「登録団体紹介」や「講座の記録」、「ご近所取材コーナー」など、広報記事も掲載しています。

創刊号（第1号）は平成4年6月に発行しました。

■「であいきらり」特集記事の主な内容（特集記事は第34号から掲載）

号数	発行年月	特集記事の主な内容
34	平成13年9月	女性情報センターをのぞいてみませんか？ ・女性情報センターの施設・事業の紹介
35	平成14年3月	DV（ドメスティック・バイオレンス）は犯罪です ・DV防止法のポイント ・DV被害の実態
36	平成14年9月	女性情報センター開館から10年 ・「10年を講座のテーマとともにふり返る」 ・「区民とともに歩むセンターを目指して」
37	平成15年3月	体とココロのSOS ・「ストレスとうつ」～バッテリー切れに注意！～ 執筆：テーオーシービル診療所心療内科医 姫野 友美 氏 ・「おしりの悩みと現代社会」 執筆：マリーゴールドクリニック院長 山口 トキコ 氏
38	平成15年9月	セクシュアル・ハラスメント ・「どんな行為がセクシュアル・ハラスメント？」 ・「問題解決のために」 ・男女平等・共同参画オンブーズの紹介
39	平成16年3月	男女平等・共同参画センターへようこそ ・「女性情報センターから男女平等・共同参画センターへ」 ・男女平等・共同参画センターの施設・事業の紹介
40	平成16年10月	知っておきたいDV（ドメスティック・バイオレンス）の基礎知識 ・「知っておきたいDV（ドメスティック・バイオレンス）の基礎知識」 執筆：心理カウンセラー（目黒区男女平等・共同参画センター相談員） 松田 知恵 氏

号数	発行年月	特集記事の主な内容
4 1	平成 17 年 3 月	<p>ポジティブ・アクション</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「男女共同参画に向けたポジティブ・アクション」～もっと活かそうポジティブ・アクション～ 執筆：尚美学園大学総合政策学部教授（目黒区男女平等・共同参画審議会会長） 神尾 真知子 氏 ・「現場で受けとめているポジティブ・アクション」 執筆：ピジョン（株）常務取締役 島田 弘子 氏 ・「ポジティブ・アクション！女性社員にハッピー、事業所にハッピー」 執筆：NPO法人 女性と仕事研究所代表 金谷 千慧子 氏
4 2	平成 17 年 11 月	<p>女性のからだと健康</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私のからだを愛するために」～リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点から～ 執筆：ノンフィクションライター 大橋 由香子 氏 ・「女性による女性のための外来診療」 執筆：百合レディースクリニック院長（医学博士）丸本 百合子 氏
4 3	平成 18 年 3 月	<p>メディアと上手につきあう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「メディア・リテラシーの力」～いま、何故、メディア・リテラシー？～ 執筆：武蔵大学社会学部教授 小玉 美意子 氏 ・「メディアの中の男女の描き方を考えてみませんか」～テレビアニメを中心に～ 執筆：東洋英和女学院大学人間科学部教授 藤村 久美子 氏 東洋英和女学院大学非常勤講師 伊藤 めぐみ 氏
4 4	平成 18 年 11 月	<p>再就職にチャレンジ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『「はずされたハシゴ」をどう取り戻す？」～再就職を取り巻く現状と課題～ 執筆：（財）21世紀職業財団 福沢 恵子 氏 ・「再就職を成功させるには」 執筆：ハナマルキャリアコンサルタント代表 上田 晶美 氏

号数	発行年月	特集記事の主な内容
45	平成19年3月	<p>次代を担う女性起業家たち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「起業することは人生のプロセス」～直感を働かせ自分を信じて行動せよ！～ 執筆：(有) アッシュインターナショナル代表取締役 建入 ひとみ 氏 ・「病気になりにくい体になりたい」 執筆：オーガニックレストラン「みどりえ」オーナー 萬 英子 氏
46	平成19年12月	<p>DV防止法が改正されました</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「被害者支援の充実に向けて」(改正内容) ・「私もひとりの人間です・・・」(被害者の声) ・男女平等・共同参画センター資料室のDV防止関連都書の紹介
47	平成20年3月	<p>男女平等・共同参画審議会答申の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「目黒区の男女平等・共同参画政策はどこまで進んでいるのか」～第三者(審議会)による事業評価と提言～ 執筆：日本大学法学部教授(目黒区男女平等・共同参画審議会会長) 神尾 真知子 氏
48	平成20年11月	<p>デートDV</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「身近な問題として『デートDV』を考える」 執筆：NPO法人 レジリエンス代表(DVコンサルタント・ソーシャルワーカー) 中島 幸子 氏 ・デートDV防止出張講座レポート ・デートDVチェックリスト
49	平成21年3月	<p>目黒区男女平等・共同参画審議会答申</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「平成19年度目黒区の男女平等・共同参画推進計画の事業評価の概要」～第三者による事業評価と提言～ 執筆：日本大学法学部教授(目黒区男女平等・共同参画審議会会長) 神尾 真知子 氏
50	平成21年11月	<p>ワークライフバランス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ワーク・ライフ・バランスの導入はなぜむずかしいのか」 執筆：日本女子大学教授 大沢 真知子 氏 ・子育てパパのワーク・ライフ・バランス ・「新米パパの育児は楽しい！」 執筆：(株) 東レ経営研究所 渥美 由喜 氏
51	平成22年3月	<p>ひとりで悩んでいませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性のための相談室から(男女平等・共同参画センター相談室の紹介) ・女性のための自己表現トレーニング～グループカウンセリング～

号数	発行年月	特集記事の主な内容
5 2	平成 22 年 11 月	男性の地域参加 ・「男性の地域参加とソーシャル・キャピタル」 執筆：中央大学法学部教授 広岡 守穂 氏 ・「団塊世代男性の地域（家庭）生活を応援する」 執筆：京都教育大学准教授 関口 久志 氏
5 3	平成 23 年 3 月	目黒区男女平等・共同参画推進計画（平成 23 年度～27 年度）概要 ・男女平等・共同参画推進計画を改定しました（計画改定の趣旨、計画期間、前推進計画からの主な改正点、課題ごとの指標、計画の体系図）
5 4	平成 23 年 11 月	女性のキャリア ・「女性のキャリア」～ポジティブ・アクションとの関係について～ 執筆：名古屋大学大学院教授 金井 篤子 氏
5 5	平成 24 年 3 月	家族との関係 ・「心のケアと家族の関係」 執筆：心理カウンセラー 巖岩 奈々 氏
5 6	平成 24 年 11 月	セクシュアル・ハラスメントと教育 ・「『スクール・セクシュアル・ハラスメント』って知っていますか」 執筆：NPO法人 SSHP 全国ネットワーク代表 亀井 明子 氏
5 7	平成 25 年 3 月	女性の体と心の健康 ・「親子で知りたい！女の子の体と心の守り方」 執筆：助産師・バースセラピスト やまがた てるえ 氏



3 相談業務

男女平等・共同参画センターは、女性のための相談を行い、悩んでいる皆さんが自分で問題を解決できるよう支援しています。

「こころの悩みなんでも相談」「法律相談」「からだの相談」の三種類で、いずれも費用は無料です。その他、グループカウンセリングによる女性の自己表現トレーニングも実施しています。

3-1 こころの悩みなんでも相談

自分の生き方、家庭や職場の人間関係、ドメスティック・バイオレンスなど、女性のさまざまなこころの悩みについて、専門の女性相談員が相談を受けます。匿名での相談や電話での相談も受け付けます。

こころの悩みなんでも相談（電話・面談）

◎相談電話 03 - 5721 - 8572

◎相談日時 火・木・金・土曜日 午前10時～午後4時
水曜日 午後6時～9時

（祝日・年末年始を除く。）

※ 面談希望の場合は、事前に電話で相談日時を予約する。

■こころの悩みなんでも相談 利用状況

単位：人

年度	実施日数	面談	電話	合計
19	248	374	1,194	1,568
20	249	392	1,075	1,467
21	247	526	1,133	1,659
22	248	547	832	1,379
23	246	594	920	1,514

■こころの悩みなんでも相談 相談内容

単位：件

年度	自分の生き方	夫婦関係		夫婦以外の 家族・親族関係				家族以外の人間関係						性・からだ			暮らし		精神保健	仕事	その他	合計
		別居・離婚	夫婦関係	子ども	親	舅・姑	親族	男女	友人	学校	職場	地域	その他	健康・病気	産婦人科系	性被害	経済	その他				
19	393	158	218	151	79	21	51	47	25	4	28	7	16	70	13	1	16	5	326	57	539	2,225
20	352	122	140	123	112	22	69	71	35	5	42	27	40	45	4	7	29	15	341	40	477	2,118
21	428	209	132	151	94	11	42	115	24	7	40	44	43	35	9	4	35	14	360	30	586	2,413
22	488	154	152	150	117	13	65	59	31	5	55	35	36	25	1	1	35	22	218	39	337	2,038
23	324	255	136	124	105	11	58	119	31	4	37	38	23	51	12	1	101	66	292	45	413	2,246

3-2 からだの相談

「病院に行くのはちょっと気が引けるけど、どこに相談していいのかわからない・・・」
 このような女性のからだに関する悩みについて、女性保健師が相談を受けます。匿名での相談や電話での相談も受け付けます。

からだの相談（電話・面談）

◎相談電話 03 - 5721 - 8573

◎相談日時 第1・第3土曜日 午前10時～正午
 （祝日・8月・年末年始を除く。）

※ 面談希望の場合は、事前に電話で相談日時を予約する。



■からだの相談 利用状況

単位：件

年度	面談	電話	合計
19	26	142	168
20	49	122	171
21	27	131	158
22	23	133	156
23	19	173	192

■からだの相談 相談内容

単位：件

年度	性	生理	妊娠	更年期	不妊	子宮系疾患	その他	合計
19	12	20	8	13	6	29	80	168
20	8	21	0	17	0	32	93	171
21	11	17	1	13	2	28	86	158
22	5	11	2	24	1	25	88	156
23	1	7	4	40	1	35	104	192

3-3 法律相談

女性弁護士による法律相談です。離婚、財産、相続などの相談を受けます。

法律相談（面談のみ・事前予約）

- ◎予約電話 03 - 5721 - 8570（相談日の2週間前から予約を受け付け）
- ◎相談日時 第2・第4土曜日 午前9時30分～午後0時10分
（祝日・8月・年末年始を除く。）
- ◎対 象 目黒区に在住・在勤・在学の女性

■法律相談 相談内容

単位：件

年度	日数	結婚	離婚	養子縁組	子ども	相続	財産	労働	性差別	税理	医療	その他	合計
19	39	0	52	0	5	9	3	0	0	0	0	28	97
20	39	0	61	0	10	17	10	0	0	0	0	16	114
21	40	0	57	0	4	15	8	0	0	0	0	17	101
22	40	1	46	0	2	12	9	0	0	0	1	9	80
23	41	0	47	0	8	13	6	2	0	0	0	6	82

3-4 女性のための自己表現トレーニング ～グループカウンセリング～

男女が平等に共同参画する社会づくりを進めるためには、男女が共に個性や能力を発揮できるようにすることが大切です。グループカウンセリングは、経済力や腕力によりパートナーとの力関係に落差が生じ、弱い立場に置かれがちな女性が、自己表現の方法について学ぶ講座です。

■参加者延べ人数

単位：人

年度	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	合計
19	56	48	40	53	—	197
20	45	49	54	54	—	202
21	47	54	41	51	49	242
22	52	49	57	54	42	254
23	42	64	39	53	46	244



4 講座・講演会の開催

男女平等・共同参画センターは、区民の学習の機会をつくるために、「女性の健康講座」「父親と子どものための家事講座」など、男女が平等に共同参画する社会づくりの推進に必要な知識・技術の習得や実践力を養うことを目的とした講座を開催しています。参加費は無料で、広く区民の参加を呼びかけています。

■講座開催状況

年度	開催回数				参加者延べ人数
	単発講座	連続講座	講演会	合計	
19	5	6	1	12	622
20	7	4	1	12	642
21	7	5	1	13	570
22	9	5	0	14	790
23	9	3	0	12	538



■講座の記録 (平成19年度から掲載)

年度	開催年月	講座名	参加人数
19	平成19年6月	セクシュアル・ハラスメント防止講座 「女性も男性も・・・もっと働きやすい職場環境に」	23
	平成19年9月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「漢方の“チカラ”で元気でキレイに！」	50
	平成19年10月	男性向け介護講座 「ガンばらないで楽する介護」	97
	平成19年11月	女性への暴力防止講座 「女性のための護身術～“心と体の力”に気付こう！」 (3回連続講座)	66
	平成20年1月	女性の人権講座 「自分らしく！人生の店じまい～輝いて生きるための生前準備～」(4回連続講座)	95
		ポジティブ・アクション講座 「変わった？変わらない？女性スポーツのいま！」	14
	平成20年2月	女性のための起業講座 「女性のアイデアでプチ起業する！」(3回連続講座)	104
	平成20年3月	男女平等・共同参画講座 ■講演「夫(おとこ)の役割？妻(おんな)の役割？～ハウスハズバンドからの提案～」	19
		男女平等・共同参画リーダー育成講座 「『私らしさ』という迷宮～『男らしい・女らしい』ってどこがヘンなの？」(3回連続講座)	33
		女性の生き方講座 「フランス文学夜話」(2回連続講座) 第1回「国葬になった女性作家～コレットの生き方～」 第2回「バルザックの憧れた女性たち～ランジェ公爵夫人を中心に～」	82
		人権講座 「人身売買は他人事ですか？～わたしたちにできること～」	17
		リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「もう一度『親塾』いま、子どもに性をどう教えるか！」	22

年度	開催年月	講座名	参加人数
20	平成20年6月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「もっと知ろうよ！自分のからだ」	23
	平成20年7月	デートDV防止出張講座 「お互いを尊重しあえる関係を築くために『デートDVって何?』」（目黒学院高等学校）	25
		女性への暴力防止講座 「自分の身は自分で守る女になる！～知的護身術のすすめ～」	26
	平成20年9月	女性の参画促進講座 「チェンジングー！シャイニングー！～私らしく輝きたいねん！～」	38
	平成20年10月	男性向けチャレンジ講座 「やらされる前に、やってみるか！」（3回連続講座）	73
	平成20年11・12月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「スッキリ解消！もしかして『尿モレ』?」（2回連続講座）	60
	平成20年12月	ワーク・ライフ・バランス講座 「企業が変われば社会も変わる～ワーク・ライフ・バランス、セクハラ・パワハラ対策」（2回連続講座）	40
	平成21年2月	女性向け育児講座 「ハッピー・ママの法則～育児ストレスなんて吹き飛ばせ～」	24
	平成21年2・3月	女性のための起業講座 「アイデアをかたちにする！」（3回連続講座）	142
	平成21年3月	男性向け講座 「男性のための恋愛・結婚セミナー～いい男になるために～」	26
		メディア・リテラシー講座 「さあ！あなたも『気づいたひと』に」	60
		女性の人権講座 ■講演「与謝野晶子生誕130年『もうひとつの情熱の歌人』」	105

年度	開催年月	講座名	参加人数
21	平成 21 年 7 月	女性への暴力防止講座 「“自分を護るパワー”を呼び覚まそう！」(3回連続講座)	54
		女性の就労支援講座 「子育てママの再就職準備講座」(2回連続講座)	17
	平成 21 年 8 月	女性のためのマネー講座 「お金がたまる『しくみ』を学ぶ」	40
	平成 21 年 9 月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「アラウンド更年期を漢方でバランスよく」	48
	平成 21 年 10 月	男性向け介護講座 「今後を活かそう、介護保険制度と施設の現状」	39
	平成 21 年 11 月	男性向け育児講座 「パパの子育て～ワークライフバランスでいこう」	6
	平成 21 年 11・12 月	男性向けチャレンジ講座 「試しに家事ってみるか」(3回連続講座)	51
	平成 21 年 12 月	性に関する講座 「『女から男になったワタシ』 性同一性障害とたたかう」	29
	平成 22 年 1 月	女性の人権講座 「老後を意匠する 『女ひとり生き方上手』」	54
	平成 22 年 2 月	女性のための起業講座 「夢をかなえるヒントをさがそう」(3回連続講座)	145
		デートDV防止講座 「子どもを加害者にも被害者にもさせないために」	17
	平成 22 年 3 月	女性の就労支援講座 「働く女性のためのキャリアセミナー」(2回連続講座)	40
		メディア・リテラシー講座 ■講演「情報を読み解く力を学ぼう」	30

年度	開催年月	講座名	参加人数
22	平成22年4月	デートDV防止出張講座 「それって愛なの？デートDVってなに？」 (東京都立大学附属高等学校)	160
	平成22年5月	男女平等・共同参画センター運営委員会企画講座 「絵本『世界中のひまわり姫へ』が語る女性の人権」	22
		女性の人権講座 「老後を意匠する 「私の葬送日記」 上映&トーク」	43
	平成22年6月	女性への暴力防止講座 「“自分を護るパワー”を呼び覚まそう！」(3回連続講座)	64
	平成22年8月	男性向け育児講座 「パパのための子育て講座」	31
	平成22年9月	男性向け自己表現トレーニング 「コミュニケーション力」	20
		男女平等・共同参画センター運営委員会企画講座 「家裁弁護士は見た さまざまな家族のあり方、生き方」	45
	平成22年10月	男性向けチャレンジ講座 「おとうさんは家事上手！」(3回連続講座)	60
	平成22年11月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「思春期を迎える子どもたちにつたえたい性と生」	17
	平成22年11・12月	ワーク・ライフ・バランス講座 「共働きの快適生活術」(3回連続講座)	47
	平成22年12月	男性向け介護講座 「当世介護事情と自分流の介護」(2回連続講座)	31
	平成23年1月	デートDV防止出張講座 「『デートDV』ってなに？」(トキワ松学園高等学校)	121
		リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「ここが知りたい！婦人科健診」	12
	平成23年2月	女性のための起業講座 「わたしの想いをかたちにする！」(3回連続講座)	117

年度	開催年月	講座名	参加人数
23	平成 23 年 5 月	メディア・リテラシー講座 「ネット情報のからくりを読みとく」	37
	平成 23 年 6 月	男性向け自己表現トレーニング 「コミュニケーション力」	17
		ワーク・ライフ・バランス講座 「仕事と育児をもっと楽しもう」	26
	平成 23 年 7 月	デートDV防止出張講座 「『デートDV』ってなに？」（東京都立目黒高等学校）	248
	平成 23 年 7・8 月	女性への暴力防止講座 「自己防衛能力を高めよう！」（3回連続講座）	42
	平成 23 年 10・11 月	男性向けチャレンジ講座 「イクメンパパは家事上手！」（3回連続講座）	30
	平成 23 年 11 月	女性への暴力防止講座 「女と男の素敵な関係」	22
		セクシュアル・ハラスメント防止講座 「子どものスポーツ気をつけたいこと」	12
	平成 24 年 1 月	女性リーダー育成講座 「男女共同参画推進の現状と課題を考える」	28
	平成 24 年 1・2 月	女性の就労支援講座 「再就職を成功させよう！再就職のイメージづくりから実現まで」（3回連続講座）	26
	平成 24 年 2 月	リプロダクティブ・ヘルス／ライツ講座 「オンナの病気のお話を聞きましょう！」	23
		性に関する講座 「こんなに違う！世界の性教育」	27



年度	開催年月	講座名	参加人数
24	平成24年6月	メディア・リテラシー講座 「映画の中の女性たち」	37
	平成24年7月	デートDV防止出張講座 「『デートDV』ってなに？」（東京都立目黒高等学校）	239
		防災講座 「災害と女性～防災力アップは女性×男性の視点で」	48
	平成24年8月	ワーク・ライフ・バランス講座 「仕事・家庭で役立つ時間管理術」	24
	平成24年9月	リプロダクティブ・ヘルス/ライツ講座 「更年期・こういう時に漢方！！」	25
	平成24年10月	女性の人材育成講座 「好きなことで夢をかなえる仕事術～趣味が仕事に！」	38
	平成24年11月	女性のための護身術と護心術 「自分を大切に自身で護ろう」（3回連続講座）	55
	平成24年11・12月	父親と子どもの家事講座 「お母さんのにっこりを増やそう！」（3回連続講座）	16
	平成25年1月	女性の就労支援講座 「女性のための再就職支援セミナー～今からできる私らしくイキイキと働くための最初の一步」	42



5 場の提供

男女平等・共同参画について学ぶ学習や交流の場として、男女平等・共同参画センターでは、会議室と研修室を提供しています。中目黒スクエア内の施設（男女平等・共同参画センターのほか、青少年プラザ、児童館、住区センター）利用者のため、保育室も用意しています。

また、施設に備え付けの器具として、ビデオプロジェクター、プロジェクター、ビデオテープレコーダーを貸し出しています。

施設の利用

◎会議室、研修室の利用時間帯及び使用料

【平成 25 年 3 月まで】

		午前 (9 時～12 時)	午後 (13 時～17 時)	夜間 (18 時～21 時 30 分)
会議室	登録団体	800 円	1,400 円	1,400 円
	一般利用	2,900 円	4,700 円	4,900 円
研修室	登録団体	300 円	500 円	500 円
	一般利用	1,000 円	1,600 円	1,700 円

【平成 25 年 4 月から】

		午前 (9 時～12 時)	午後 (13 時～17 時)	夜間 (18 時～21 時 30 分)
会議室	登録団体	1,100 円	1,800 円	1,900 円
	一般利用	2,900 円	4,700 円	4,900 円
研修室	登録団体	400 円	600 円	600 円
	一般利用	1,000 円	1,600 円	1,700 円

※ 祝日は午前・午後のみ利用

◎備付器具の使用料

ビデオプロジェクター	プロジェクター	ビデオテープレコーダー
1,500 円	800 円	800 円

◎利用の予約・申請の方法（平成 19 年 3 月 1 日～）

	利用の予約	利用申請
受付時間	8 時 45 分～21 時（月曜日、年末年始を除く。） ※予約はパソコン、携帯電話からも可能（6 時～24 時、ただし受付開始日は 8 時 45 分～24 時）	9 時～20 時 30 分
受付開始日	【登録団体】 利用月の 3 か月前の初日 【一般利用】 利用月の 2 か月前の初日	

■施設の利用状況

年 度	利用 可能 回数	区 分	会議室				研修室				保育室			
			午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計	午前	午後	夜間	計
19	912	行政	17	38	11	455 (155)	26	18	4	459 (184)	86	101	23	210
		有料	139 (46)	162 (60)	88 (49)		120 (70)	162 (79)	129 (35)					
20	911	行政	21	33	10	479 (151)	33	17	6	505 (175)	102	97	34	233
		有料	137 (49)	173 (56)	105 (46)		140 (73)	182 (72)	127 (30)					
21	913	行政	30	41	7	513 (147)	36	28	13	574 (214)	119	119	41	279
		有料	144 (44)	172 (60)	119 (43)		157 (85)	211 (101)	129 (28)					
22	898	行政	32	39	8	503 (170)	33	23	6	529 (191)	148	115	15	278
		有料	141 (54)	167 (74)	116 (42)		155 (77)	203 (91)	109 (23)					
23	845	行政	20	28	2	481 (151)	29	25	7	471 (191)	113	101	20	234
		有料	135 (49)	148 (53)	148 (49)		154 (93)	166 (75)	90 (23)					

※ () は登録団体の利用 (内数)

※ 保育室は、会議室・研修室のほか、青少年プラザや中目黒住区会議室の利用者も利用できる。



6 活動支援

「女性問題又は男女の平等な共同参画の推進に関する活動を行う団体」を男女平等・共同参画センター利用団体として登録し、会議室・研修室の使用料の軽減や印刷機の設置など、団体活動の支援を行っています。

また、施設や事業の運営に利用者の声を反映させ、団体相互の交流を促進するために、利用者懇談会、利用者交流会などを実施しています。

男女平等・共同参画センターの登録団体って？



男女平等・共同参画センターでは、女性問題又は男女の平等な共同参画の推進に関する活動を行う団体を、利用団体として登録しています。(平成 25 年 1 月末現在 32 団体)

登録された団体は、さまざまな支援を受けることができます。

使用料の支援

一般利用よりも安い使用料で、会議室・研修室を使うことができます。また、プロジェクターなどの器具を無料で借りることができます。

予約申込みの支援

一般利用よりも 1 か月早く利用予約をすることができます。(利用月の 3 か月前の初日から)



電子複写機・印刷機の利用
専用ロッカーの貸出制度
資料室図書 of 団体貸出制度

登録団体になるためには、次の要件をすべて満たす必要があります。

- 女性問題又は男女の平等な共同参画の推進に関する活動を行う団体であること。
- 営利活動・政治活動・宗教活動を行わない団体であること。
- 会員は 5 人以上であり、半数以上が区内在住・在勤・在学であること。

6-1 ネットワーク・交流促進

団体相互の交流を促進するため、利用者交流会などを実施しています。

■ネットワーク・交流の記録

年度	内容
4	女性情報センター オープニングフェスティバル (H4. 7. 11~12) ■映画と話し合い「女が働くア・ラ・カルト」 ■講演と交流「人との出会いを生きるパワーに」 講師：船橋 邦子 氏
5	女性情報センター 開館1周年記念行事 (H5. 7. 3) ■映画「旅する女」上映 ■講演「女性問題って何だろう 女性情報センターって何だろう」 講師：金森 トシエ 氏
6	女性情報センター 「交流祭」 (H6. 7. 9) ■討論会「妻の呼び方・夫の呼び方大研究」 コーディネーター：遠藤 織枝 氏 ■女性問題に関する川柳（公募作品）の展示 ■【登録団体】寸劇、歌などの上演
7	女性情報センター 「交流週間」 (H8. 2. 21~27) ■「きらりさん」（女性情報センターだより「であいきらり」シンボルマーク）展示 ■女性問題に関する川柳（公募作品）の展示 ■【登録団体】活動内容紹介パネル展示 ■【登録団体】寸劇、歌などの上演
8	交流促進「きらり小祭」 (H9. 2. 22) ■女性問題に関する川柳（公募作品）の展示 ■【登録団体】団体名簿の作成・公表 ■【登録団体】活動内容紹介パネル展示 ■【登録団体】寸劇、歌などの上演
9	女性情報センター 開館5周年記念のつどい (H10. 2. 21) ■講演「女も生きやすい社会とは 男女共同参画社会の実現をめざして」 講師：内藤 和美 氏 ■映画「女人四十（にょにんよんじゅう）」上映 ■ワイワイ井戸端会議「私にも言わせて」 ■各分野における女性の参画状況の紹介 ■【登録団体】活動内容紹介の展示 ■【登録団体】寸劇、歌などの上演

年度	内容
10	交流のつどい (H11. 2. 20) <ul style="list-style-type: none"> ■ワイワイ井戸端会議「世界の女性の生き方と考え方」(仕事・結婚・育児・介護) ■「アフリカ音楽コンサート」上演 演奏者：ムジャンジャ ■女性情報センター資料の紹介と展示 ■【登録団体】活動内容紹介の展示
11	交流のつどい (H12. 2. 26) <ul style="list-style-type: none"> ■映画「都市の24時」「スウェーデンの結婚・家族・変わる男女の絆」上映 ■ワイワイ井戸端会議「夢を描こう！21世紀の女性像、男性像」 ■【登録団体】活動内容紹介の展示
12	交流のつどい「耳をすまそう、明日の声」 (H13. 2. 10) <ul style="list-style-type: none"> ■女性問題に関する川柳(公募作品)のスライド上映、朗読 ■ワイワイ井戸端会議「キレル子供と私たち」「働く女性と家族」「家族と会話をしてますか」 ■【登録団体】活動内容紹介の展示
14	女性情報センター 10周年記念行事 (H14. 7. 14) <p>※中目黒スクエア(青少年プラザ・児童館・住区センター)全体で10周年記念行事を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ■講演「21世紀型女と男の新しいライフスタイルを目指して」 講師：落合 恵子 氏 ■講談「ジェンダーフリーの子育てを社会に根ざせ」 講談師：神田 昌味 氏 ■ハワイアンダンス「ナ・ホク・オ・カヘアラニ」上演 ■女性情報センター資料の紹介と展示 ■【登録団体】活動内容紹介の展示
15	男女平等・共同参画センター おしゃべりカフェ (H16. 1. 24) <ul style="list-style-type: none"> ■おしゃべりカフェ「自分らしく生きるとは？」

※平成17年度以降は毎年「利用者交流会」を開催。参加した団体の活動紹介と意見交換を主な内容とし、団体相互の親睦を深めている。



6-2 利用者懇談会

施設や事業等の運営についての利用者の意見・要望を伺うため、懇談会を開催しています。登録団体をはじめ、幅広い利用者の参加を呼びかけています。

■利用者懇談会の記録

年度 (開催年月日)	参加者からの主な意見・要望	参加者
5 (H6. 1. 22)	○印刷室の利用について ○掲示板の使用について	20人
6 (H7. 3. 4)	○保育時のテレビの使用について ○おやつ用の皿の購入について ○保育時の子どもの状況について ○事務室の配置について	14人
7 (H8. 2. 24)	○エレベーターの使用について ○8階パンフレット架の団体使用について ○「であいきらり」の配布状況について ○土曜日の会議室の使用状況について	16人
8 (H9. 2. 22)	○5周年事業の実施について ○印刷機の利用申請の簡略化について ○(施設使用料の見直し方針(案)で女性情報センターの会議室・研修室の有料化が示されたことに対して、)女性情報センターは女性問題解決の拠点として設置された施設であり、有料化はおかしい。有料化すれば、小さな団体は使えなくなり、区の女性計画の趣旨に反するのではないか。	22人
9 (H10. 3. 28)	○使用料の有料化は団体活動を阻害する。再考してほしい。 ○団体活動の支援策を一層考慮してもらいたい。	10人
10 (H11. 2. 27)	○団体の学習会などへの指導者派遣制度を継続してほしい。 ○自主企画講座を今後も継続してほしい。 ○会議室の机は、前列だけでも足隠しをつけてほしい。	9人
11 (H12. 3. 25)	○登録団体が利用する場合、会議室・研修室の利用申請を簡略化できないか。 ○利用者が自分で操作できる複写機を設置してほしい。 ○中目黒スクエア入口は薄暗い雰囲気、施設に魅力が感じられない。 ○自分でとれる有料コピー機を置いてほしい。 ○建物の表示が見づらく、わかりにくい。	14人

年度 (開催年月日)	参加者からの主な意見・要望	参加者
1 2 (H13. 3. 24)	<ul style="list-style-type: none"> ○課の名称が変わった(女性政策課→人権政策課)が、今後の施策の方向はどうなるのか。 ○外国人のために、建物のローマ字表記を実施してほしい。 ○区役所本庁舎が移転すると、女性情報センターの扱いはどうなるのか。 	12人
1 4 (H14. 4. 20)	<ul style="list-style-type: none"> ○懇談会は、行政主導ではなく、利用者中心の運営にしたい。実行委員方式で行うための準備委員を募集したらどうか。 ○利用者同士の交流会を年に1回は開催したい。 	8人
1 6 (H16. 10. 23)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料室の希少本は廃棄しないでほしい。 ○ホームページの内容は随時更新してほしい。 ○団体専用ロッカーを増設してほしい。 ○利用者が自分で操作できる複写機を設置してほしい。 ○相談室を使いやすくしてほしい。 	10人
(H17. 2. 19)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>基調講演開催</p> <p>「今後の男女平等・共同参画センターのあり方を考える」</p> <p>講師：日本女性学習財団理事長 大野 曜 氏</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○中目黒スクエア1階ロビーにミーティングスペースを確保してほしい。 ○会議室の分割利用を検討してほしい。 ○団体交流を通じて、登録団体相互の「顔が見える」関係を築きたい。 ○中目黒スクエア内の各施設(男女平等・共同参画センター、青少年プラザ、児童館、住区センター)の利用者合同連絡会などが行われるとよい。 	19人
1 7 (H18. 2. 4)	<ul style="list-style-type: none"> ○1階ロビーにミーティングスペースが設置されて助かっている。受付から見えない箇所もあるので、利用者に危険がないように配慮してほしい。 ○カフェやNPO法人を誘致するなど、住区サービス事務所跡地の有効活用を検討してほしい。 ○区と団体の共催講座を実施したい。区との共催を通じて団体の活動を広めていきたいと考えている。補助金制度なども検討してほしい。 	9人
1 8 (H18. 12. 9)	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>集会施設予約システム説明会開催</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○利用しやすいシステムにしてほしい。 	8人

年度 (開催年月日)	参加者からの主な意見・要望	参加者
19 (H20. 2. 2)	<ul style="list-style-type: none"> ○保育室利用時のバギー置場に困っている。 ○予約システムが導入されたのだから、料金の支払いもパソコン上で完結するよう工夫してほしい。 ○9階ロビーでの携帯電話の使用を禁止できないか。 ○懇談会の出席者が少ない。登録団体に出席を義務づけてほしい。 	8人
20 (H20. 11. 22)	<ul style="list-style-type: none"> ○会議室・研修室は、利用時間の10～15分前には開錠してほしい。 ○保育児の人数が多いときは、研修室を保育室として使わせてほしい。 ○運営委員会はどのような活動をしているのか教えてほしい。 	16人
21 (H22. 2. 27)	<ul style="list-style-type: none"> ○資料室に、本の購入希望は出せるのか。 ○保育児の人数が多いときは、青少年プラザなどの施設を利用している。その際に、保育室のおもちゃを借りることはできるか。 ○資料室は利用者が少ない。利用者増加のために、どう対応するのか。 ○施設使用料をコンビニで払えるようにしてほしい。 	18人
22 (H23. 2. 26)	<ul style="list-style-type: none"> ○リソグラフ（簡易印刷機）の調子が良くない。買い換える予定はないのか。 ○区のホームページに「であいきらり」の紹介があるが、表紙と目次しか見ることができない。全ページを見ることができるようになってほしい。 ○講座の申込みに、電子申請を導入してほしい。 ○中目黒スクエアには建物の英語表記がどこにもない。検討してほしい。 	14人
23 (H24. 2. 25)	<ul style="list-style-type: none"> ○行革計画（素案）にある男女平等・共同参画センターの見直しについて、「継続することの是非も含めたあり方の検討を平成24年度中に行う」とされているが、どのように考えているのか。 ○資料室の利用や相談件数が減っているとは思えない。男女平等・共同参画センターが事業見直しの対象になっているのは残念である。 ○資料室図書の新規購入が中止になった場合、女性に特化した資料の収集はどのように行うのか。 ○利用者数だけで見直しを考えると悪循環になる。男女平等・共同参画センターがもつ使命のためにも、センターが存続できるように利用者を増やす工夫・努力をしてほしい。 	15人

年度 (開催年月日)	参加者からの主な意見・要望	参加者
24 (H25. 2. 23)	<ul style="list-style-type: none"> ○大田区のように指定管理制度で男女平等センターの業務を行わないのであれば、目黒区においては、各課題を行政と団体とが協力して解決していくことが活性化につながると思う。 ○利用者の利便性を考えるならば、8階にある資料室を1階に移すべきである。また、1階ロビーの照明は暗いので、LED照明に変えて明るくすべきだ。 ○1階ロビーは、テーブルや椅子を増やしたり、飾りつけをしたりするなどして、区民が集いやすい場所となるよう工夫してほしい。 ○資料室には外国籍の人が読める本がない。外国人も利用者であるのだから配慮してほしい。 ○センターを活性化するためには、若い人を集客することが重要で、子育て支援に関する施策が有効であると考えます。たとえば、子ども連れの若い母親に対して、子連れで受講できる講座を開催して見たらどうか。 ○中目黒スクエアは複合施設であるから、縦割り行政の弊害をできるだけ少なくするために、全館あがりのイベントを行うなどして、横の連携を強めていくべきだ。 	15人



7 男女平等・共同参画センター運営委員会

男女平等・共同参画センターの運営に区民の意見を反映させるため、「男女平等・共同参画センター運営委員会」を設置しています。委員は、講座・イベントの企画や、情報誌「であいきらり」の編集に参加しています。

1993年（平成5年）2月に女性情報センター運営委員会として発足しましたが、2003年（平成15年）11月の施設名称の変更に伴い、名称を「男女平等・共同参画センター運営委員会」に変更しました。

■男女平等・共同参画センター20周年によせて

目黒区男女平等・共同参画センター設立20周年おめでとうございます。

かつて、目黒女性団体連絡会をはじめとした区内の多くの女性団体には活動の拠点がなく、定例会などを行うために、住区センターや社会教育館を転々としてきました。

平成4年7月に目黒区女性情報センターが開館し、やっと活動の拠点ができて、団体間の交流や情報交換がスムーズになり、団結力がより強まりました。

女性団体連絡会では、センターの運営に区民の声を反映しようと、一般区民利用者を含めたセンター運営委員会を設置することを要望し、開館と同時に第1期運営委員会が設置されました。情報誌「であいきらり」の命名、周年記念行事の開催、利用者懇談会（年1回）の開催など、目黒区の男女平等・共同参画推進事業を区民に広めています。

昨年7月には、センター開館20周年記念行事を、運営委員会、目黒女性団体連絡会、区の三者の共催で開催し、運営委員会は「災害と女性」をテーマに展示と講演会を担当しました。講演会には浅野幸子氏を講師に迎えて、『防災力アップは女性×男性の視点で』のテーマで実施し、大好評でした。

運営委員会には男性の委員も参画しており、センターを使って活動をしたり、講演会に参加したり、審議会に委員として参画したりしています。今年2月までの第10期運営委員会には男性委員が一人いて、4歳のお子さんを連れて、熱心に活動をされていました。まさに男女共同参画を絵に描いたような和やかな雰囲気です。

20代、30代の若い世代が参画していることは、今後のセンターの発展に希望が持てて、大変喜ばしいことだと思います。



平成25年3月

第10期 目黒区男女平等・共同参画センター運営委員会 座長 原 朗子 氏

■主な活動内容

期		座長	主な活動内容
第1期	前期 (平成5年2月～平成6年2月)	原 朗子	○女性情報センター情報誌の愛称を「であいきらり」に決定した。 ○研修会(講師:矢口悦子氏)を実施した。
	後期 (平成6年3月～平成7年2月)	原 朗子	○研修会(講師:西山恵美子氏)を実施した。
第2期	前期 (平成7年3月～平成8年2月)	鈴木 千明	○他区(中野区、世田谷区)の女性関連施設の見学をした。 ○研修会(講師:西山恵美子氏)を実施した。
	後期 (平成8年3月～平成9年2月)	鈴木 千明	○女性情報センターを紹介するビデオを作成した。 ○女性情報センターの講座等の案内を自宅に郵送する「友の会」を設立した。 ○資料室所蔵のビデオを鑑賞し、意見交換を実施した。
第3期	前期 (平成9年3月～平成10年2月)	腰塚 昌子 牛島 光恵 (H9.6.28～)	○研修会(講師:鈴木千明氏)を実施した。 ○施設使用料の有料化に伴い団体の活動が低下することを防ぐため、①中目黒スクエア内に団体が無料で使用できるスペースを確保すること、②より一層の団体支援策を検討すること、の要望を提出した。 ○資料室の利用促進、区民サービスの向上の観点から、①資料室の図書目録を区の図書館情報システムで検索できるようにすること、②予約、取次ぎ、返却が区立図書館で行えるようにすること、の意見を提出した。
	後期 (平成10年3月～平成11年2月)	鈴木 恭子	○目黒区男女平等推進計画に盛り込む内容について意見交換を行った。 ○指導者派遣を継続するよう要望した。 ○他区(豊島区)の女性関連施設の見学をした。 ○こころの悩みなんでも相談の相談員を招き、女性の抱える相談について学習した。
第4期	前期 (平成11年3月～平成12年3月)	大林 優子	○女性情報センターの利用者を増加させるための方策を検討した。 ○こころの悩みなんでも相談の相談員を招き、女性の抱える相談について学習した。

	期	座長	主な活動内容
	後期 (平成12年4月～ 平成13年2月)	大林 優子	○前期に引き続き、女性情報センターの利用者を増加させるための方策を検討した。 ○講座の企画内容に対する要望書を提出した。 ○中目黒スクエア内の各施設相互の交流を図ることを提案した。
第5期	前期 (平成13年3月～ 平成14年2月)	井口 美里	○女性情報センターが実施する講座の一部の企画や情報誌「であいきらり」の記事を分担することを決定した。 ○他区(大田区)の女性関連施設の見学をした。
	後期 (平成14年3月～ 平成15年2月)	井口 美里	○企画講座「二つの悪循環を乗り越えて」「夫婦別姓の問いかけるもの」を実施した。 ○「であいきらり」(第36,37号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。 ○女性団体リーダー国内研修に1人参加した。
第6期	前期 (平成15年3月～ 平成16年2月)	鈴木 恭子	○企画講座「男女共同参画社会をつくる」「こころのバリアフリー・まずはあなたから」を実施した。 ○「であいきらり」(第38,39号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。 ○研修会「女性センターの役割と区民との協働について」を実施した。 ○おしゃべりカフェ「自分らしく生きるとは」を実施した。
	後期 (平成16年3月～ 平成17年2月)	鈴木 恭子	○企画講座「海の向こうの人権問題を考える～少女売春の実態から」「性別にフェアな社会へ～性別分業と“らしさ”の社会を超えて」を実施した。 ○「であいきらり」(第40,41号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
第7期	前期 (平成17年3月～ 平成18年2月)	堀切 絳子	○企画講座「自分らしく生きる」「女性専用車両の導入は前進か、後退か!」を実施した。 ○「であいきらり」(第42,43号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。

	期	座長	主な活動内容
	後期 (平成18年3月～ 平成19年2月)	堀切 絳子	○企画講座「自分らしく生きる」「いつも笑顔で」を実施した。 ○「であいきらり」(第44,45号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
第8期	前期 (平成19年3月～ 平成20年2月)	伊藤 在光	○他区(大田区)の女性関連施設の見学をした。 ○女性団体リーダー国内研修に1人参加した。
	後期 (平成20年3月～ 平成21年2月)	伊藤 在光	○企画講座「私らしく輝きたいねん」を実施した。 ○「であいきらり」(第48,49号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
第9期	前期 (平成21年3月～ 平成22年2月)	伊藤 在光 小西 了子 (H21.5.23～)	○企画講座「女から男になったワタシ～性同一性障害とたたかう～」を実施した。 ○「であいきらり」(第50,51号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
	後期 (平成22年4月～ 平成23年2月)	小西 了子	○企画講座「絵本『世界中のひまわり姫へ』が語る女性の人権」「家裁弁護士は見た～さまざまな家族のあり方、生き方～」を実施した。 ○「であいきらり」(第52,53号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
第10期	前期 (平成23年3月～ 平成24年2月)	原 朗子	○「であいきらり」(第54,55号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。
	後期 (平成24年3月～ 平成25年2月)	原 朗子	○企画講座「災害と女性～防災力アップは女性×男性の視点で～」を実施した。 ○「であいきらり」(第56号)の「ご近所取材コーナー」の記事を担当した。 ○「であいきらり」(第57号)の「ご近所取材コーナー」「登録団体紹介」の記事を担当した。 ○女性団体リーダー国内研修に1人参加した。